

まちの財政状況

2018.11.6(火) 平成31年度当初予算編成方針説明会

「琴浦町の財政状況について、聞いているが、実際に数字などで説明を受けたことがない。」

「予算査定でカットされるが、基金を崩せば良いのではないか？」

⇒ つぎの財政の現状を中心に説明します。

【現状】

- ① 借金（起債残高）が多い
- ② 貯金（基金残高）が少ない
- ③ 税収等は、増える見込がない



【今後、考えなくてはいけない点】

さらにサービスの多様化（増加）

⇒★ 歳出のスリム化

（手法の工夫、優先順位など）

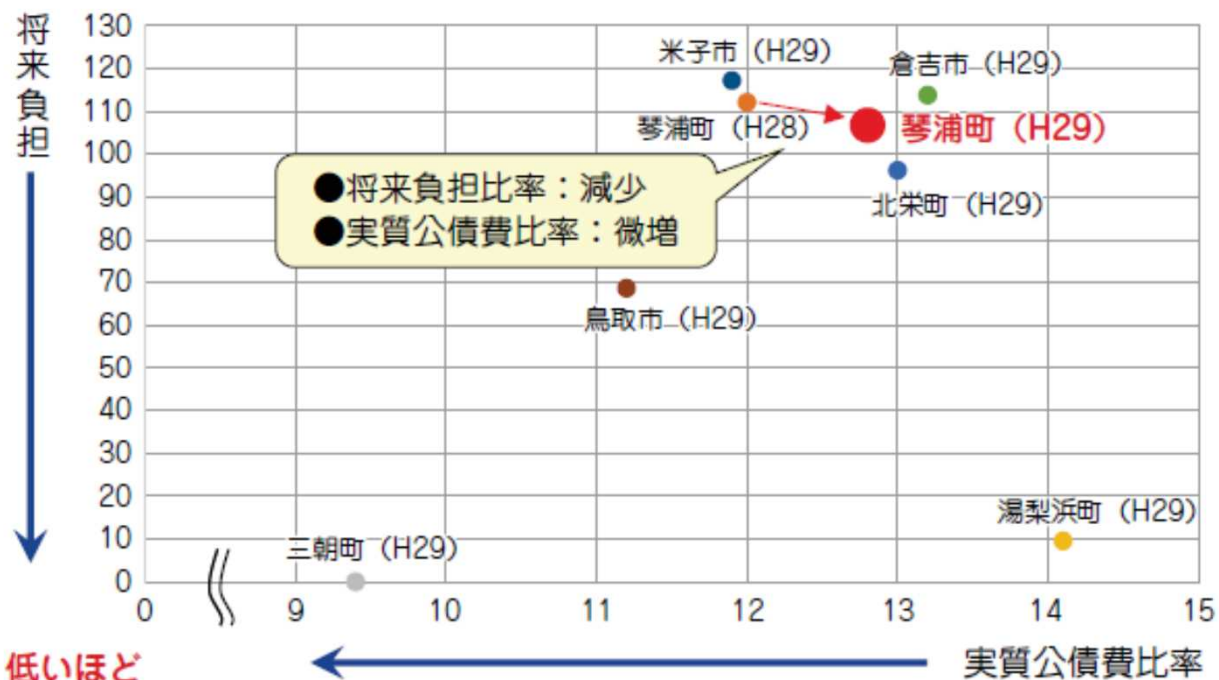
★ ふるさと納税の活用

健全化判断比率（5指標）※特別会計と連結

現在、注意すべき指標は、「実質公債費比率」、「将来負担比率」

⇒ 琴浦町は、中部町村と比較すると**将来負担比率が高い**

- 将来負担比率 ……起債残高などの将来負担すべき負債の標準財政規模に対する比率
→早期健全化基準350%を超えると起債時に県知事の許可が必要となる。
- 実質公債費比率 ……当該年度の負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率
→早期健全化基準18%を超えると起債時に県知事の許可が必要となる。



	実質公債費比率	将来負担比率
琴浦町	12.8%	106.8%
湯梨浜町	14.1%	9.5%
北栄町	13.0%	96.2%
三朝町	9.4%	-
倉吉市	13.2%	113.8%
米子市	11.9%	117.2%
鳥取市	11.2%	68.7%

低いほど
財政状況は良好

※他市町の財政状況は、平成29年度決算速報値で比較しています。

起債残高、基金残高 (県内市町村) ※H29決算

県内町村 (15町村) と比較すると

- 標準財政規模は、3番目に大きい
- 起債残高は、県内町村で一番多い (標準財政規模の220%と倉吉市に次いで2番目に多い)
- 基金 (貯金) は、標準財政規模の60%と13位 / 15町村 (下から3番目)

※1: ()書きは、町村内での順位

※2: 市は、参考

[単位:千円、%]

市町村名	標準財政規模 (A)	起債残高		財政調整基金		減債基金			その他特定目的基金		合計	
		残高(B)	対財政規模 B/A	残高(C)	対財政規模 C/A	残高(D)	対財政規模 D/A	対起債残高 D/B	残高(E)	対財政規模 E/A	残高(F)	対財政規模 F/A
岩美町	4,121,561 (8)	7,038,175	170.8% (9)	689,440	16.7% (15)	106,326	2.6% (13)	1.5%	1,799,529	43.7% (4)	2,595,295	63.0% (12)
若桜町	2,136,953 (13)	3,346,290	156.6% (10)	1,184,549	55.4% (3)	134,881	6.3% (9)	4.0%	611,610	28.6% (11)	1,931,040	90.4% (6)
智頭町	3,505,696 (9)	7,557,099	215.6% (2)	1,554,680	44.3% (6)	14,555	0.4% (15)	0.2%	1,118,225	31.9% (9)	2,687,460	76.7% (10)
八頭町	6,921,299 (1)	11,951,399	172.7% (8)	3,739,000	54.0% (4)	851,200	12.3% (6)	7.1%	1,987,942	28.7% (10)	6,578,142	95.0% (4)
三朝町	2,878,111 (11)	5,072,888	176.3% (7)	898,175	31.2% (9)	872,719	30.3% (2)	17.2%	925,641	32.2% (8)	2,696,535	93.7% (5)
湯梨浜町	6,125,446 (4)	12,263,761	200.2% (3)	2,860,840	46.7% (5)	1,148,011	18.7% (4)	9.4%	2,160,036	35.3% (5)	6,168,887	100.7% (2)
琴浦町	6,449,493 (3)	14,234,696	220.7% (1)	1,368,263	21.2% (12)	265,024	4.1% (12)	1.9%	2,208,947	34.2% (6)	3,842,234	59.6% (13)
北栄町	5,496,759 (5)	7,517,926	136.8% (13)	1,450,063	26.4% (11)	44,036	0.8% (14)	0.6%	1,510,044	27.5% (12)	3,004,143	54.7% (15)
日吉津村	1,382,639 (15)	2,463,829	178.2% (6)	484,258	35.0% (8)	77,832	5.6% (10)	3.2%	220,547	16.0% (14)	782,637	56.6% (14)
大山町	6,913,337 (2)	10,767,196	155.7% (11)	1,836,672	26.6% (10)	681,225	9.9% (8)	6.3%	3,394,416	49.1% (2)	5,912,313	85.5% (7)
南部町	4,354,648 (7)	6,436,801	147.8% (12)	820,388	18.8% (14)	1,405,981	32.3% (1)	21.8%	1,407,774	32.3% (7)	3,634,143	83.5% (8)
伯耆町	4,989,516 (6)	5,550,623	111.2% (15)	996,769	20.0% (13)	719,511	14.4% (5)	13.0%	2,193,988	44.0% (3)	3,910,268	78.4% (9)
日南町	3,313,365 (10)	6,051,678	182.6% (5)	2,065,315	62.3% (2)	729,404	22.0% (3)	12.1%	2,305,689	69.6% (1)	5,100,408	153.9% (1)
日野町	2,137,885 (12)	2,524,681	118.1% (14)	1,571,560	73.5% (1)	235,845	11.0% (7)	9.3%	303,319	14.2% (15)	2,110,724	98.7% (3)
江府町	2,032,921 (14)	3,893,347	191.5% (4)	898,672	44.2% (7)	89,505	4.4% (11)	2.3%	465,172	22.9% (13)	1,453,349	71.5% (11)
町村平均	4,183,975	7,111,359	170.0% [169.0%]	1,494,576	35.7% [38.4%]	491,737	11.8% [11.7%]	7.3%	1,507,525	36.0% [34.0%]	3,493,839	83.5% [84.1%]
鳥取市	50,211,523	101,278,427	201.7%	3,411,337	6.8%	999,345	2.0%	1.0%	9,067,227	18.1%	13,477,909	26.8%
米子市	31,787,384	63,789,471	200.7%	1,956,697	6.2%	1,486,284	4.7%	2.3%	3,658,260	11.5%	7,101,241	22.3%
倉吉市	13,793,131	31,109,483	225.5%	1,711,272	12.4%	1,461,165	10.6%	4.7%	2,378,560	17.2%	5,550,997	40.2%
境港市	7,897,166	12,401,647	157.0%	2,581,625	32.7%	554,028	7.0%	4.5%	984,430	12.5%	4,120,083	52.2%
市町村・平均%	8,760,465	16,592,075	189.4% [174.7%]	1,688,399	19.3% [33.4%]	625,099	7.1% [10.5%]	6.4%	2,036,913	23.3% [30.0%]	4,350,411	49.7% [73.9%]

標準財政規模に対する

起債残高、基金残高を散布図にすると・・・

琴浦町は、右下の『基金が少なく、借金が多い』まちに位置している。

町民 1 人あたり

▼借金（起債残高）

県内町村：703千円/人

琴浦町：807千円/人

※約10万円多い

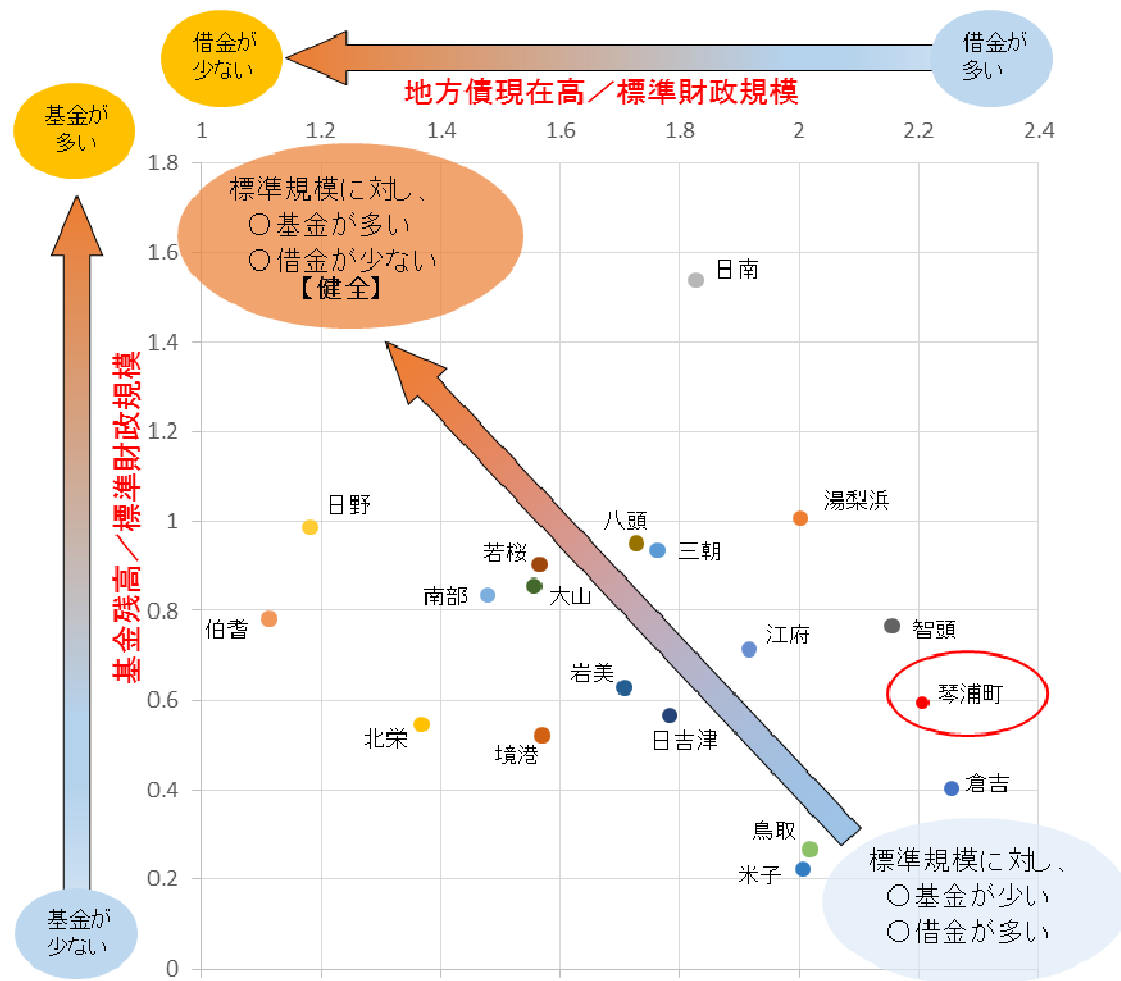
▼貯金（基金残高）

県内町村：345千円/人

琴浦町：218千円/人

※約10万円少ない

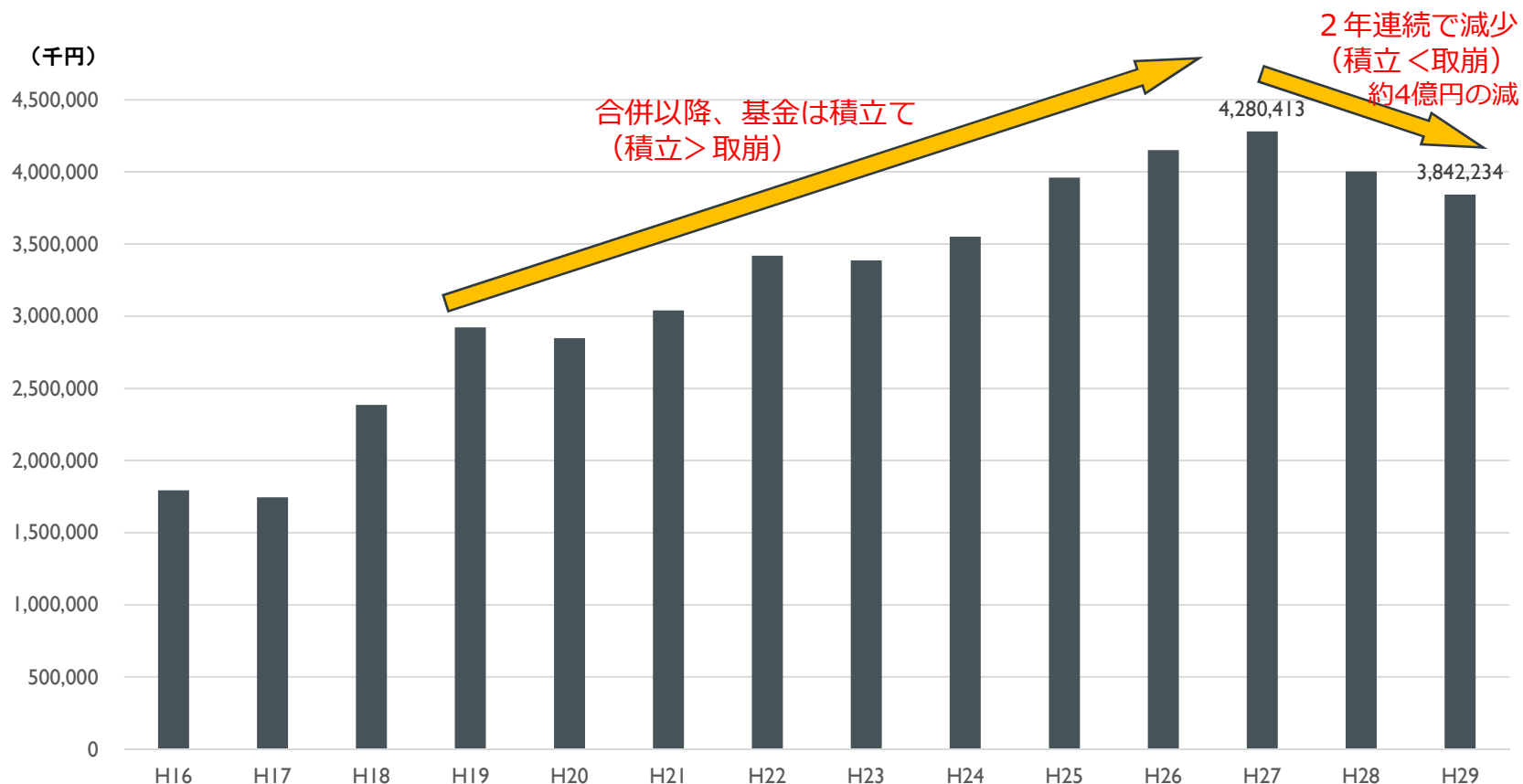
※H29.1.1人口により算出



基金残高の推移

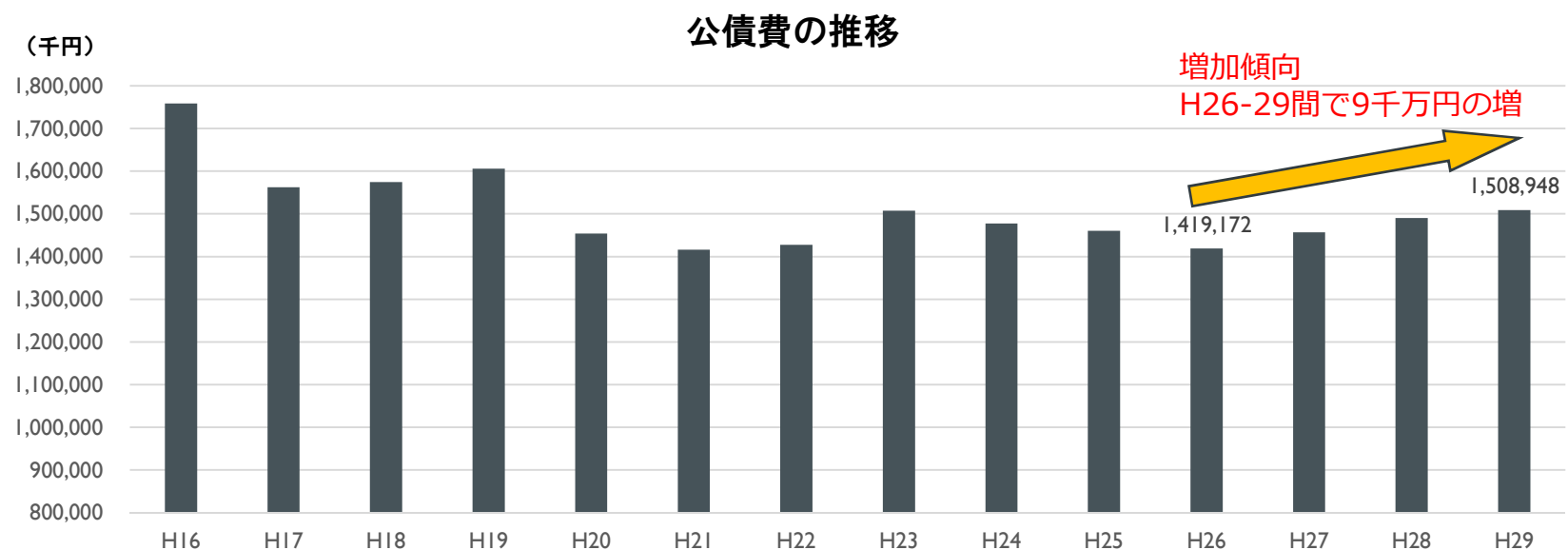
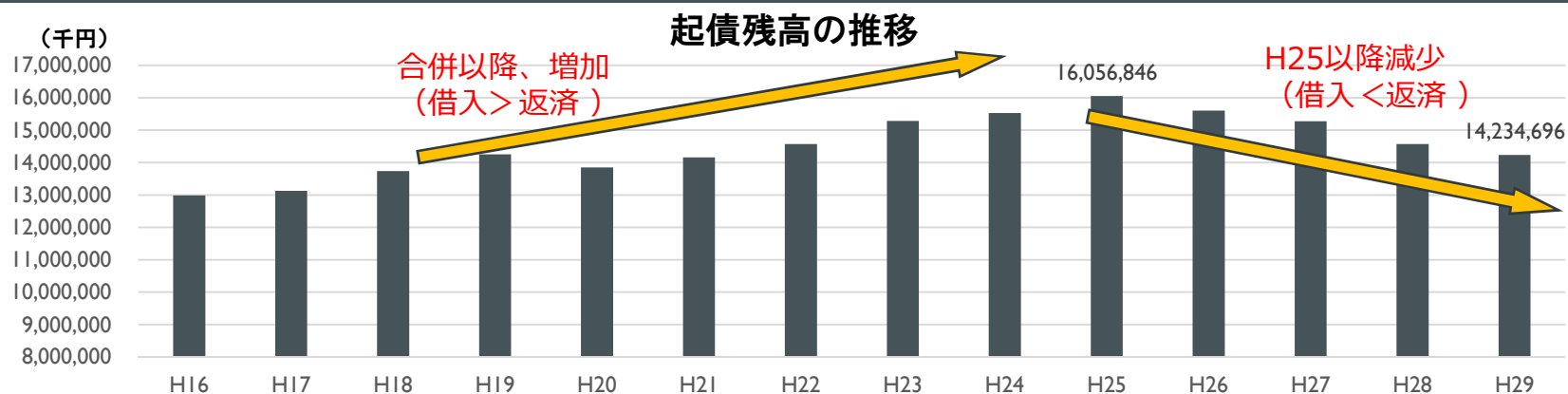
- H28・29年度、2年連続で減少（積立<取崩） = 単年度歳入を上回る歳出
- 今後も、公共施設などの更新により基金の取崩しは必至！

H26～H29の光ケーブル整備事業では、基金を総額7億7百万円取り崩した。
H30年度は、災害だけで、3億5百万円の取崩しを実施⇒H30も基金総額は減少(見込)



起債残高、公債費の推移

- H25以降、起債残高は減少傾向（借入<返済）
- 今後、公債費は、H35年度まで増加する傾向にある。



「予算とは」

- 予算とは、一般に一定期間における収入、支出の見積り
- 『量出制入』こそ、財政運営の基本
- 住民（納税者）が納得する歳出予算（サービス）でなくてはならない。

● 「予算とは」、一般に一定期間における収入及び支出の見積り

当初予算：1年度間の所要額の見積

補正予算：当初予算の調整後に生じた事由に基づいて、「追加」又は「更正」などの変更を加えるもの

※当然、「歳出総額＝歳入総額」とならなければならない。

● 自治体の予算は「量入制出？量出制入？」の議論

「量入制出」＝歳入を量って、歳出を決める。

「量出制入」＝歳出を量って、歳入を決める。

▼家計であれば、「量入制出」

自分の給料から支出（生活費など）を決める。（身の丈に合った支出）

住宅、車などの購入は、ローン又は貯金を活用。

▼では、自治体の予算の現状は？

家計と同様に、税収などの歳入を見込み、その範囲内となるよう歳出を抑制。

ハード関係などについては、起債(ローン)、基金(貯金)を活用。

→ 現在、琴浦町では、貯金は少なく、ローン返済に苦しくなっている。

家計と違い、本来、自治体は、「入」を調整することができる。

⇒起債以外に、課税自主権（制限課税上限、超過課税、法定外課税）で歳入を調整することができる。

● 「量出制入こそ本来の財政運営の基本！」

真に必要なサービスがあるならば、超過課税などを実施するのが王道。

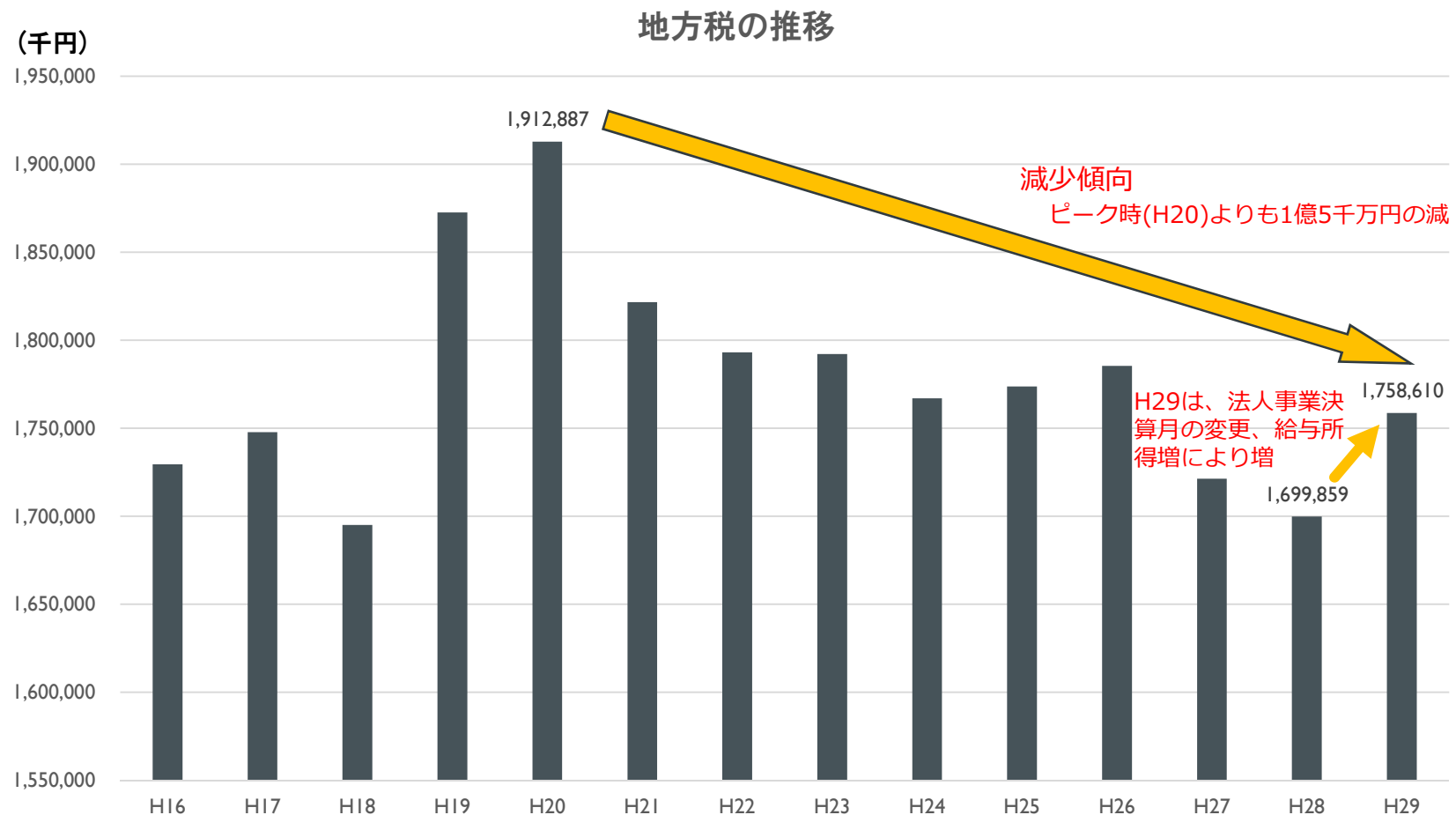
（サービスを行うために税を賦課する。⇔税金があるからサービスを行うのではない。）

ただし、そのためには、**住民（納税者）が納得する歳出予算（サービス）**でなくてはならない。

しかし、実態は、周りの自治体を見て超過課税などを行いにくく、「量入制出」となっている。

地方税（歳入）

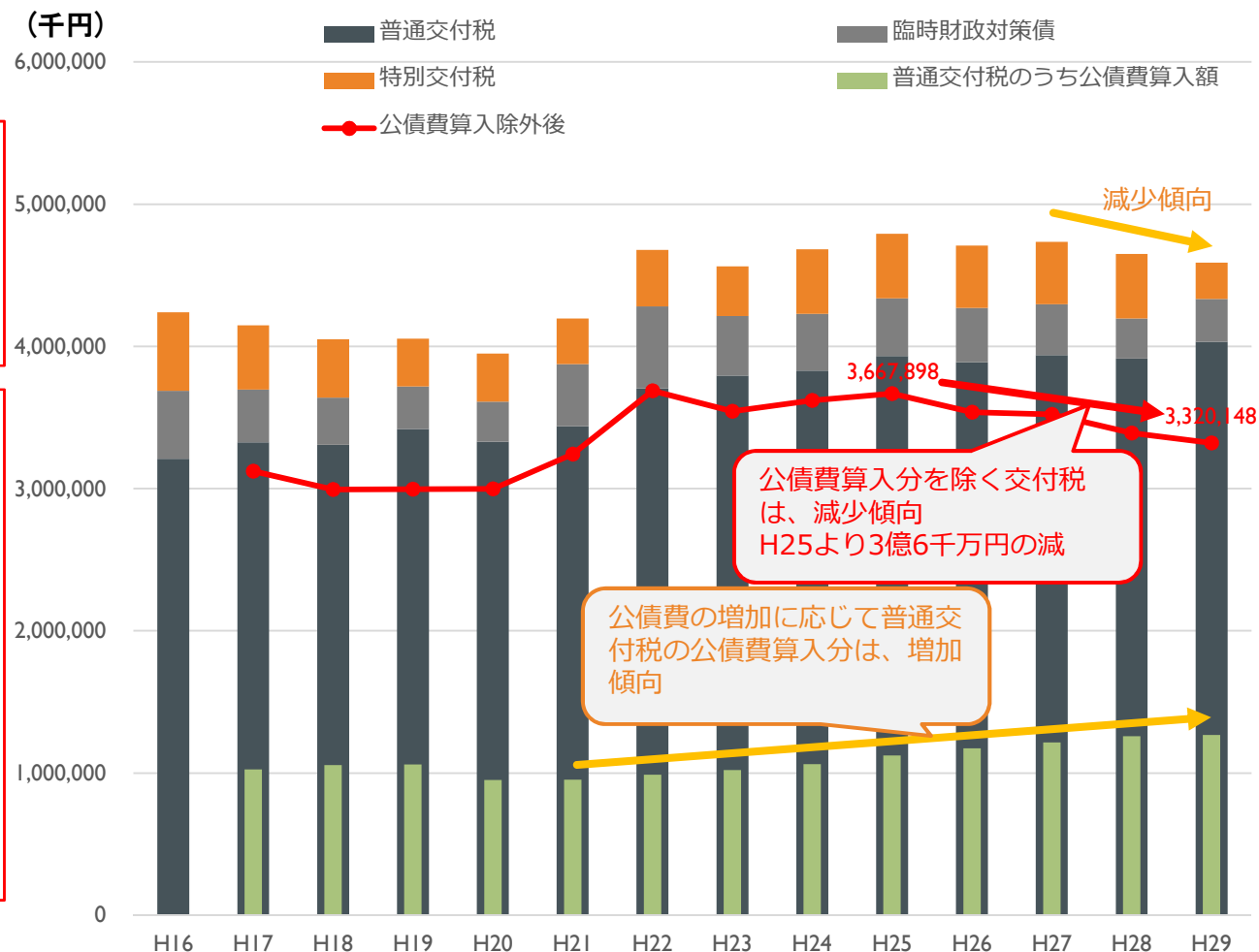
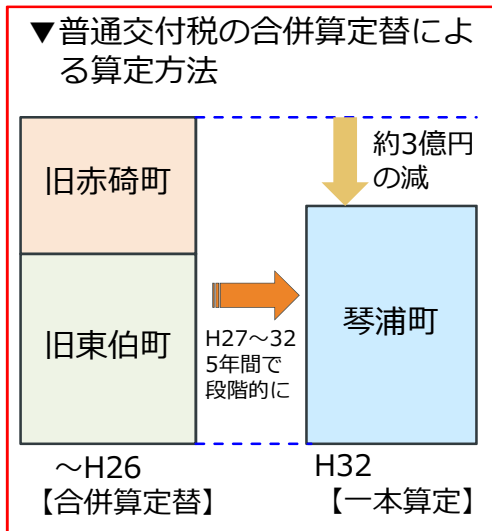
- H20リーマンショック以降、減少傾向
- 今後も、人口減少による減収要因を抱えている。



地方交付税

- 地方交付税は、減収傾向
- 公債費算入分を除くと減少傾向は顕著
- 普通交付税は、合併算定替えによる減収【H30→32 : ▲91百万円】

▼臨時財政対策債
 国が普通交付税と交付すべき財源が不足するため、地方が起債を起こすもの。
 後年度に普通交付税として、国が負担を負う。



歳入の内訳

- 自主財源は、32.1% → 依存財源（67.9%）に頼る財政構造
- 財源確保策として、「ふるさと納税制度」の活用が必要！

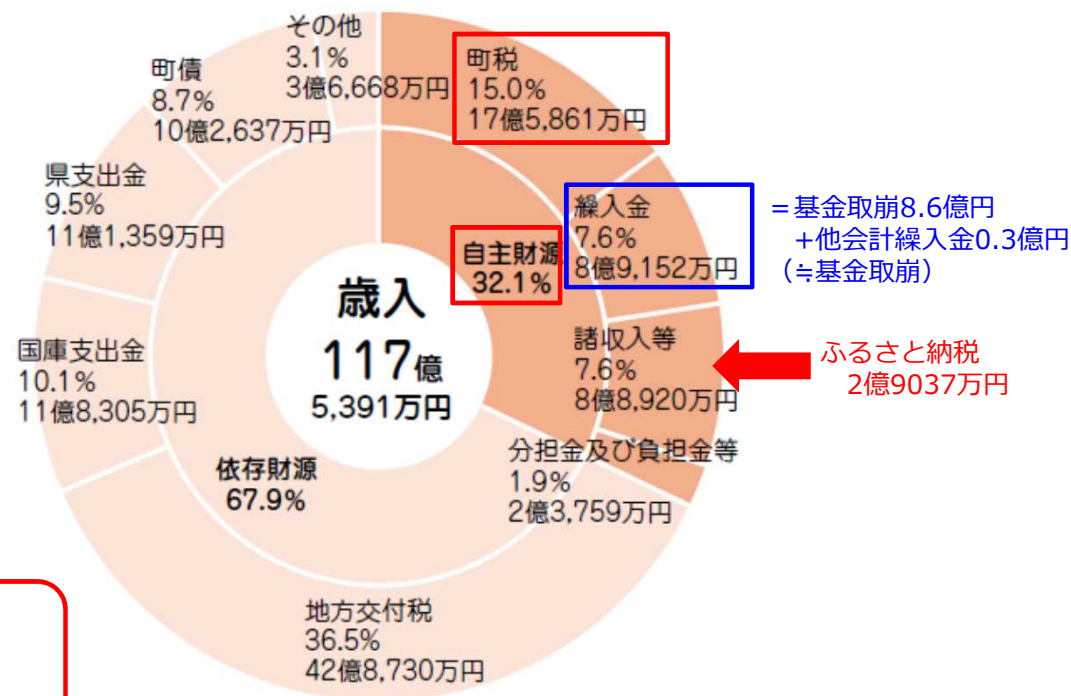
琴浦町のH29歳入決算

【依存財源】 67.9%

地方交付税(36.5%)など増加する見込みがない。

【自主財源】 32.1%

- ・ 繰入金（基金、他会計）7.6%を除くと自主財源は、**24.5%**
- ・ 約半分を占める町税は、減少見込み。



【財源確保策】

- ・ 諸収入等に含まれる「ふるさと納税」！
- ・ ふるさと納税は、工夫次第で伸びしろがある。

- ⇒ ★ 寄附者の共感が得られる充当事業のアピール
 ★ 広く寄附をいただける仕組みづくり